

Let's ハンズオン! Get スキル!



標本の質が診断を変える!?

リアルに体験。現場で活ける技術を身に付ける



2026年 6.13. 土 14. 日

第67回日本臨床細胞学会総会 パシフィコ横浜ノース

細胞診において、標本の質は診断の可否を大きく左右します。

しかし、検体処理を実際に学ぶ・指導を受ける機会が減少しています。まだ経験の浅い方の中には、自己流に不安を感じている方も多い一方、日常的に標本作製に携わっている方や、基本を見直したい方にとって有意義な内容です。

本セミナーでは、**見て・触れて・体験できる**

実践的なハンズオンを通して、明日から現場で使える標本作製の基本とコツを身につけて頂きます。

定員

各項目30名

-当日朝、チケット配布

項目

一喀痰・体腔液一

神戸大学 今川奈央子先生
千葉県がんセンター 高橋司先生

一呼吸器・肺臓一

岡山大学 井上博文先生/松岡博美先生
岡山大学大学院/姫路赤十字病院
永谷たみ先生

一脳腫瘍・リンパ節一

杏林大学 田邊一成先生/里見介史先生
昭和医科大学 岸本浩次先生

一穿刺吸引(甲状腺)一

隈病院 樋口觀世子先生

実技研修に際しては、安全に配慮した器材を使用し
感染性検体は用いません。実技を伴う研修であること
をご理解のうえご参加ください。

ハンズオンセミナー

日程表

6/13(土)

- ① 09:40～10:30 穿刺吸引(甲状腺)
- ② 10:40～11:50 呼吸器・腋臓
- ③ 13:10～14:20 脳腫瘍・リンパ節
- ④ 14:30～15:40 咳痰・体腔液

6/14(日)

- ⑤ 08:50～09:40 穿刺吸引(甲状腺)
- ⑥ 09:50～11:00 咳痰・体腔液
- ⑦ 11:10～12:20 呼吸器・腋臓
- ⑧ 13:40～14:50 脳腫瘍・リンパ節